様式第２号の１－①【⑴実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第２号の１－②を用いること。

学校名	堺女子短期大学
設置者名	学校法人愛泉学園

１．「実務経験のある教員等による授業科目」の数

学部名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数				省令で定める基準単位数	配置困難
			全学共通科目	学部等共通科目	専門科目	合計		
	美容生活文化学科美容文化コース	夜・通信	0	2	7	9	7	
	美容生活文化学科ビューティーメイクコース	夜・通信			6	8		
	美容生活文化学科舞台芸術コース	夜・通信			5	7		
	美容生活文化学科幼児教育コース	夜・通信			6	8		
	美容生活文化学科キャリア教養コース	夜・通信			6	8		
（備考）								

２．「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

http://aisengakuen.jp/wp-ontent/uploads/2025/06/jitsumukeikenkyouin.pdf

３．要件を満たすことが困難である学部等

学部等名
（困難である理由）

様式第２号の２－①【⑵-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第２号の２－②を用いること。

学校名	堺女子短期大学
設置者名	学校法人愛泉学園

１．理事（役員）名簿の公表方法

http://aisengakuen.jp/wp-content/uploads/2025/06/sinyakuinmeibo.pdf

２．学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容や期待する役割
非常勤	歯科医師	R7.5.29～R11 定時評議員会の終結の時まで	組織運営体制へのチェック機能
非常勤	無職	R7.5.29～R11 定時評議員会の終結の時まで	組織運営体制へのチェック機能
（備考）			

様式第２号の３【⑶厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	堺女子短期大学
設置者名	学校法人愛泉学園

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

１．授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。
(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要) 【シラバスの作成過程】 あらかじめ「シラバス作成要領」と USB を科目担当教員に渡し、担当教員は「要領」に従って作成し、学科主任に提出する。学科主任が中身を点検して正しく書かれているかどうかを確認している。 【シラバスの作成・公表時期】 シラバスは（1）ナンバー（2）授業の到達目標（3）授業の概要（4）卒業認定・学位授与の方針（ディプロマポリシー）と当該授業科目の関連(5)準備学習とそれに必要な時間（6）授業の進行計画(7)課題に対するフィードバックの方法（8）成績評価の方法と基準（9）教科書・参考書・教材費の項目を必ず記入して作成する。そして４月のオリエンテーションまでにホームページに公表する。

授業計画書の公表方法	https://www.sakai.ac.jp/assets/cmn_pdf/syllabus.pdf

２．学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。
(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要) 時数の 2/3 以上の出席を前提として、試験やレポート、制作などで評価する。成績評価の基準は、シラバスの成績評価の方法と基準に基づき、厳格かつ適正に実施され単位を授与している。

３．成績評価において、ＧＰＡ等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。	
（客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要） 秀（100～90 点）が GP（グレートポイント）４、優（89～80 点）が GP３、良（79～70 点）が GP２、可（69～60 点）が GP１、不可（59 点～）及び欠席・資格なし等が GP０として換算し、これに履修対象科目の単位数をかけた数の総計を当該学期で履修登録した GPA 対象科目の単位総数で割ったものが GPA である。 この算出方法は、「学習生活の手びき」に記載されており、ホームページ上に公表している。	
客観的な指標の 算出方法の公表方法	https://www.sakai.ac.jp/assets/cmn_pdf/tebiki.pdf
４．卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。	

（卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要）

美容文化コース

・美容の知識・技術

美容に関する知識と技術を習得し、美容師国家試験受験資格を取得している。

・センス・マナー

センス・マナーにおいても、美容各分野の幅広いフィールドで活躍できる、人間性豊かでオールマイティーな人材となっている。

・自分で考え、伝える力

獲得した知識や技術をもとに、自分自身で考え、それを相手に的確に伝える能力を習得している。

・社会貢献・充実した人生

美容を通じて社会に貢献し、自分自身も充実した人生を生きていこうという意志を抱いている。

ビューティーメイクコース

・メイク・ネイルなどの技術と知識

メイク・ネイル・エステなどの専門的な技術と知識を取得している。

・センス・マナー

センス・マナーセンス・マナーにおいても、美容各分野の幅広いフィールドで活躍できるオールマイティーな人材となっている。

・自分で考え、伝える力

獲得した知識や技術をもとに、自分自身で考え、それを相手に的確に伝える能力を習得している。

・社会貢献・充実した人生

人を美しくすることを通じて社会に貢献し、自分自身も充実した人生を生きていこうという意志を抱いている。

舞台芸術コース

・舞台芸術の知識と技術

演劇・演技・歌唱・ダンス・アニメなど広く舞台芸術や芸能に関する専門的な知識と技術を学び、自己表現力を高めることができている。

・自己プロデュース

表現者として、「自分」という個性をセルフプロデュースできる人材になること。

・自分で考え、伝える力

獲得した知識や技術をもとに、自分自身で考え、それを相手に的確に伝える能力を習得している。

・社会貢献・充実した人生…広く舞台芸術や芸能について学び、表現することにより社会に貢献し、自分自身も充実した人生を生きていこうとする意志を抱いている。

幼児教育コース

・保育・幼児教育の知識と技術

子どもの発達や福祉・教育に関する専門性を修得し、保育士資格（あるいは保育士資格および幼稚園教諭資格）を取得している。

・保育実習・体験学習

子ども一人一人の育ちを大切にし、美容技術を用いて社会貢献の実践ができる保育士・社会人になるための現場での実習・体験学習を積んでいる。

・自分で考え、伝える力

獲得した知識や技術をもとに、自分自身で考え、それを相手に的確に伝える能力を習得している。

・社会貢献・充実した人生

子どもの発達や福祉・教育に関わる実践により社会に貢献し、自分自身も充実した人生を生きていこうという意志を持っている。

キャリア教養コース

・広い教養

外国語（英会話・韓国語）・心理学・情報技術（パソコン）の知識を柱に、食・歴史・文学・美術について広く教養を身につけている。

・キャリアデザイン

センス・マナーにおいても、幅広いフィールドで活躍できるオールマイティーな人材となり、21 世紀にふさわしいキャリアアップを目指して、国際的な社会人となること。

・自分で考え、伝える力

獲得した知識や技術をもとに、自分自身で考え、それを相手に的確に伝える能力を習得している。

・社会貢献・充実した人生

短期大学で学んだ教養によって国際人として社会に貢献し、自分自身も充実した人生を生きていこうという意志を持っている。

所定の期間、本学に在学しその定める教育理念・教育目的に沿って設定した授業科目を履修して、基準となる単位数を修得するのが学位授与の要件である。本学では、各コースの一般教養教育、専門教育の各領域において、下記のような知識・技術・技能を備え、所定の単位を取得した学生に卒業を認定し、学位を授与している。

各コースの卒業に必要な単位数は「学生生活の手びき」に記載されており、ホームページ上に公表している。また、ディプロマポリシーもホームページ上に公表している。

卒業の認定に関する 方針の公表方法	https://www.sakai.ac.jp/assets/cmn_pdf/tebiki.pdf http://aisengakuen.jp/wp-content/uploads/2025/06/R7diploma.curriculum.admissionpolicy.pdf

様式第２号の４－①【⑷財務・経営情報の公表（大学・短期大学・高等専門学校）】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第２号の４－②を用いること。

学校名	堺女子短期大学
設置者名	学校法人愛泉学園

１．財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	http://aisengakuen.jp/wp-content/uploads/2025/06/taisyakutaisyouhyou.pdf
収支計算書又は損益計算書	http://aisengakuen.jp/wp-content/uploads/2025/06/shikinsyusikeisansyo.pdf
財産目録	http://aisengakuen.jp/wp-content/uploads/2025/06/zaisanmokuroku.pdf
事業報告書	http://aisengakuen.jp/wp-content/uploads/2025/06/R6jigyouhoukokusyo.pdf
監事による監査報告（書）	http://aisengakuen.jp/wp-content/uploads/2025/06/kanjikansahoukokusyo.pdf

２．事業計画（任意記載事項）

単年度計画（名称：　　対象年度：　　）
公表方法：
中長期計画（名称：　　対象年度：　　）
公表方法：

３．教育活動に係る情報

（１）自己点検・評価の結果

公表方法：https://www.sakai.ac.jp/assets/cmn_pdf/inspection_r6.pdf

（２）認証評価の結果（任意記載事項）

公表方法：

（３）学校教育法施行規則第 172 条の２第１項に掲げる情報の概要

①教育研究上の目的、卒業又は修了の認定に関する方針、教育課程の編成及び実施に関する方針、入学者の受入れに関する方針の概要

学部等名　美容生活文化学科

教育研究上の目的（公表方法：http://aisengakuen.jp/wp-content/uploads/2025/06/1.secchigakka2.senninkyouin.pdf　）

（概要）
本学では建学の精神及び教育理念に基づき、次のような教育目的を学則に掲げている。すなわち「本学は教育基本法及び学校教育法に従い、広く知識を授けるとともに深く美容生活文化に関する専門の学芸を教授研究し、知的道徳的及び応用能力を養い、明朗で知性に富み穏健かつ情操豊かな女性の育成を目的とする。」

卒業又は修了の認定に関する方針（公表方法：http://aisengakuen.jp/wp-content/uploads/2025/06/R7diploma.curriculum.admissionpolicy.pdf　）

（概要）

美容文化コース

・美容の知識・技術
　美容に関する知識と技術を習得し、美容師国家試験受験資格を取得している。
・センス・マナー
　センス・マナーにおいても、美容各分野の幅広いフィールドで活躍できる、人間性豊かでオールマイティーな人材となっている。
・自分で考え、伝える力
　獲得した知識や技術をもとに、自分自身で考え、それを相手に的確に伝える能力を習得している。
・社会貢献・充実した人生
　美容を通じて社会に貢献し、自分自身も充実した人生を生きていこうという意志を抱いている。

ビューティーメイクコース

・メイク・ネイルなどの技術と知識
　メイク・ネイル・エステなどの専門的な技術と知識を取得している。
・センス・マナー
　センス・マナーセンス・マナーにおいても、美容各分野の幅広いフィールドで活躍できるオールマイティーな人材となっている。
・自分で考え、伝える力
　獲得した知識や技術をもとに、自分自身で考え、それを相手に的確に伝える能力を習得している。
・社会貢献・充実した人生
　人を美しくすることを通じて社会に貢献し、自分自身も充実した人生を生きていこうという意志を抱いている。

舞台芸術コース

・舞台芸術の知識と技術
　演劇・演技・歌唱・ダンス・アニメなど広く舞台芸術や芸能に関する専門的な知識と技術を学び、自己表現力を高めることができている。
・自己プロデュース
　表現者として、「自分」という個性をセルフプロデュースできる人材になること。
・自分で考え、伝える力
　獲得した知識や技術をもとに、自分自身で考え、それを相手に的確に伝える能力を習

得している。
・社会貢献・充実した人生…広く舞台芸術や芸能について学び、表現することにより社会に貢献し、自分自身も充実した人生を生きていこうとする意志を抱いている。

幼児教育コース
・保育・幼児教育の知識と技術
子どもの発達や福祉・教育に関する専門性を修得し、保育士資格（あるいは保育士資格および幼稚園教諭資格）を取得している。
・保育実習・体験学習
子ども一人一人の育ちを大切にし、美容技術を用いて社会貢献の実践ができる保育士・社会人になるための現場での実習・体験学習を積んでいる。
・自分で考え、伝える力
獲得した知識や技術をもとに、自分自身で考え、それを相手に的確に伝える能力を習得している。
・社会貢献・充実した人生
子どもの発達や福祉・教育に関わる実践により社会に貢献し、自分自身も充実した人生を生きていこうという意志を持っている。

キャリア教養コース
・広い教養
外国語（英会話・韓国語）・心理学・情報技術（パソコン）の知識を柱に、食・歴史・文学・美術について広く教養を身につけている。
・キャリアデザイン
センス・マナーにおいても、幅広いフィールドで活躍できるオールマイティーな人材となり、21 世紀にふさわしいキャリアアップを目指して、国際的な社会人となること。
・自分で考え、伝える力
獲得した知識や技術をもとに、自分自身で考え、それを相手に的確に伝える能力を習得している。
・社会貢献・充実した人生
短期大学で学んだ教養によって国際人として社会に貢献し、自分自身も充実した人生を生きていこうという意志を持っている。

教育課程の編成及び実施に関する方針（公表方法：http://aisengakuen.jp/wp-content/uploads/2025/06/R7diploma.curriculum.admissionpolicy.pdf ）

（概要）
美容文化コース
・美容師国家試験の合格に向けて、複数の教員で各教科を担当し、学習・技術両面において少人数制のきめ細かい指導を徹底する。
・教員同士が緊密に連携をとり、学生の実情を共有して把握する。技術及び学力のレベルチェックのためのテストを定期に実施し、特に国家試験直前には模擬試験を集中して行う。
・美容師としての美的センスやモラル、接客マナーについて丁寧に指導し、また自分が考えたことを的確に相手に伝え、行動できるコミュニケーション能力を育成する。
・美容等を通して社会貢献できることを教え、ボランティア活動などへの関心が増すよう指導する。

ビューティーメイクコース
・ビューティースペシャリストに求められる知識と技術を習得し、応用力・即戦力を養えるよう、現場で活躍する講師によるフレキシブルな教育を実施する。

・常に目標（資格取得）を持ち、それを達成していくことにより、スキルアップを図ると同時に、精神力を養う。一人ひとりの特性を捉え、すべての学生が基準値に達するよう、教育内容を再構築している。
・メイクアップ等によって人を美しくする仕事に携わる者としての美的センスやモラル、接客マナーについて丁寧に指導し、自分が考えたことを的確に相手に伝え、行動できるコミュニケーション能力を育成する。
・メイクアップ等を通じての社会貢献について教え、ボランティア活動などへの関心が増すよう指導する。

舞台芸術コース
・ダンス・ポピュラーミュージック・声優・演技・音響・照明などを、最新の設備の整った環境のもと、現場で活躍するプロフェッショナルの講師が本格的なレッスンを展開する。
・学んだ成果を発表する場として、各種学内イベントを提供することはもちろん、個人の志す分野の各種のオーディションや、舞台、音楽活動を支援する。
・自分が考えたことを的確に相手に伝え、行動できるコミュニケーション能力を育成するとともに、広く舞台芸術によって社会に貢献できることを様々な機会に指導していく。

幼児教育コース
・2 年間の目標を「子ども・保育との出会い」「子ども・保育を知る」「子ども、保育、地域にかかわる」「保育者のたまごになる」と定め、系統的なカリキュラムを構築する。
・多様なニーズを抱える子育ての現場へ対応できる人材を育成すべく、実習はもちろんその
事前・事後指導に力を入れ、コース担当教員が全員で指導にあたる。
・自分が考えたことを的確に相手に伝え、行動できるコミュニケーション能力を育成するとともに、広く保育あるいは幼児教育によって社会に貢献できることを指導していく。

キャリア教養コース
・心理学・外国語・情報・歴史・美術・文学など、多様なジャンルの教養を得るとともに、就職にも役立つ各種の資格の取得をめざし、国際的な活躍のできる女性を育成していく。
・キャリアデザイン演習などでは、少人数のよさを生かし、一人ひとりの個性を引き伸ばす教育を展開し、学生生活と将来の自分について考えを深める機会としている。
・キャリアデザイン概論、キャリアデザイン演習などで自分が考えたことを的確に相手に伝えられるコミュニケーション能力を育成するとともに、獲得した知識によって社会に貢献できることを指導していく。

入学者の受入れに関する方針（公表方法：http://aisengakuen.jp/wp-content/uploads/2025/06/R7diploma.curriculum.admissionpolicy.pdf ）

（概要）

美容文化コース
・美容に強い関心を持ち、忍耐強く情熱を持って取り組める人。
・短期大学で学んだ知識をもとに自分で考え、それを相手に的確に伝える能力を習得していきたいと思っている人。
・美容師としての能力を生かして社会に貢献していきたいという意欲を持っている人。

ビューティーメイクコース
・メイク・ネイル・エステなどに強い関心を持ち、情熱を持って取り組める人。
・学んだ知識をもとに、自分で考え、それを相手に的確に伝える能力を習得していきたいと思っている人。
・人を美しくすることによって社会に貢献し、多くの人に喜んでもらいたいという意欲を持っている人。

舞台芸術コース
・身体を使って表現することが好きで、舞台芸術に強い関心を持っている人。
・舞台の照明・音響・美術など舞台芸術を製作する分野や、アニメやイラストなどに関心があり、深く学びたいという意欲を持っている人。
・自分という個性を磨き、これをセルフプロデュースして表現したいという意欲を持っている人。学んだ知識をもとに、自分で考え、それを相手に的確に伝える能力を習得していきたいと思っている人。
・舞台芸術に携わることで社会に貢献し、自らの人生を充実したものにしていこうという意欲を持っている人。

幼児教育コース
・相手の気持ちを思いやることができ、子どもの成長や発達を支えたいと願う人。
・子ども一人一人の育ちを大切にし、美容技術を用いて社会貢献の実践ができる保育士・社会人になりたいと考えている。
・学んだ知識をもとに自分で考え、それを相手に的確に伝える能力を習得していきたいと思っている人。
・子どもの発達や福祉・教育に関わる実践により、社会に貢献していきたいという意欲を持っている人。

キャリア教養コース
・外国語や心理学、歴史、文学や食、健康などに関心があり、広く知識を得たいという意欲を持っている人。
・将来、社会人として自立していくためのキャリアアップを目指し、必要な資格を取得していきたいと考えている人。学んだ知識をもとに自分で考え、それを相手に的確に伝える能力を習得していきたいと思っている人。
・国際人として将来広く社会に貢献したいと考えている人。

②教育研究上の基本組織に関すること

公表方法：http://aisengakuen.jp/wp-content/uploads/2025/06/R7uneikikouzu.pdf

③教員組織、教員の数並びに各教員が有する学位及び業績に関すること

a. 教員数（本務者）

学部等の組織の名称	学長・副学長	教授	准教授	講師	助教	助手 その他	計
－	２人	－					２人
美容生活文化	－	５人	２人	２人	６人	０人	１５人
	－	人	人	人	人	人	人

b. 教員数（兼務者）

学長・副学長	学長・副学長以外の教員	計
０人	２７人	２７人

各教員の有する学位及び業績（教員データベース等）	公表方法： http://aisengakuen.jp/wp-content/uploads/2025/06/R7kyouinsyoukai.pdf

c. ＦＤ（ファカルティ・ディベロップメント）の状況（任意記載事項）

④入学者の数、収容定員及び在学する学生の数、卒業又は修了した者の数並びに進学者数及び就職者数その他進学及び就職等の状況に関すること

a. 入学者の数、収容定員、在学する学生の数等

学部等名	入学定員 (a)	入学者数 (b)	b/a	収容定員 (c)	在学生数 (d)	d/c	編入学定員	編入学者数
美容生活文化	１５０人	１４３人	95.3%	３００人	２８３人	94.3%	人	人
	人	人	%	人	人	%	人	人
合計	１５０人	１４３人	95.3%	３００人	２８３人	94.3%	人	人

（備考）

b. 卒業者数・修了者数、進学者数、就職者数

学部等名	卒業者数・修了者数	進学者数	就職者数（自営業を含む。）	その他
美容生活文化	１３３人 (100%)	７人 (5.3%)	９７人 (72.9%)	２９人 (21.8%)
	人 (100%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)
合計	１３３人 (100%)	７人 (5.3%)	９７人 (72.9%)	２９人 (21.8%)

（主な進学先・就職先）（任意記載事項）

（備考）

c. 修業年限期間内に卒業又は修了する学生の割合、留年者数、中途退学者数（任意記載事項）

学部等名	入学者数	修業年限期間内卒業・修了者数	留年者数	中途退学者数	その他
	人 (100%)	人 (　　%)	人 (　　%)	人 (　　%)	人 (　　%)
	人 (100%)	人 (　　%)	人 (　　%)	人 (　　%)	人 (　　%)
合計	人 (100%)	人 (　　%)	人 (　　%)	人 (　　%)	人 (　　%)
（備考）					

⑤授業科目、授業の方法及び内容並びに年間の授業の計画に関すること

（概要）シラバスは（1）ナンバー（2）授業の到達目標（3）授業の概要（4）卒業認定・学位授与の方針（ディプロマポリシー）と当該授業科目の関連(5)準備学習とそれに必要な時間（6）授業の進行計画(7)課題に対するフィードバックの方法（8）成績評価の方法と基準（9）教科書・参考書・教材費の項目を必ず記入して作成する。そして４月のオリエンテーションまでにホームページに公表する。

⑥学修の成果に係る評価及び卒業又は修了の認定に当たっての基準に関すること

（概要）

美容文化コース

・美容の知識・技術
　美容に関する知識と技術を習得し、美容師国家試験受験資格を取得している。
・センス・マナー
　センス・マナーにおいても、美容各分野の幅広いフィールドで活躍できる、人間性豊かでオールマイティーな人材となっている。
・自分で考え、伝える力
　獲得した知識や技術をもとに、自分自身で考え、それを相手に的確に伝える能力を習得している。
・社会貢献・充実した人生
　美容を通じて社会に貢献し、自分自身も充実した人生を生きていこうという意志を抱いている。

ビューティーメイクコース

・メイク・ネイルなどの技術と知識
　メイク・ネイル・エステなどの専門的な技術と知識を取得している。
・センス・マナー
　センス・マナーセンス・マナーにおいても、美容各分野の幅広いフィールドで活躍できるオールマイティーな人材となっている。
・自分で考え、伝える力
　獲得した知識や技術をもとに、自分自身で考え、それを相手に的確に伝える能力を習得している。
・社会貢献・充実した人生
　人を美しくすることを通じて社会に貢献し、自分自身も充実した人生を生きていこうと

いう意志を抱いている。

舞台芸術コース

・舞台芸術の知識と技術
　演劇・演技・歌唱・ダンス・アニメなど広く舞台芸術や芸能に関する専門的な知識と技術を学び、自己表現力を高めることができている。
・自己プロデュース
　表現者として、「自分」という個性をセルフプロデュースできる人材になること。
・自分で考え、伝える力
　獲得した知識や技術をもとに、自分自身で考え、それを相手に的確に伝える能力を習得している。
・社会貢献・充実した人生…広く舞台芸術や芸能について学び、表現することにより社会に貢献し、自分自身も充実した人生を生きていこうとする意志を抱いている。

幼児教育コース

・保育・幼児教育の知識と技術
　子どもの発達や福祉・教育に関する専門性を修得し、保育士資格（あるいは保育士資格および幼稚園教諭資格）を取得している。
・保育実習・体験学習
　子ども一人一人の育ちを大切にし、美容技術を用いて社会貢献の実践ができる保育士・社会人になるための現場での実習・体験学習を積んでいる。
・自分で考え、伝える力
　獲得した知識や技術をもとに、自分自身で考え、それを相手に的確に伝える能力を習得している。
・社会貢献・充実した人生
　子どもの発達や福祉・教育に関わる実践により社会に貢献し、自分自身も充実した人生を生きていこうという意志を持っている。

キャリア教養コース

・広い教養
　外国語（英会話・韓国語）・心理学・情報技術（パソコン）の知識を柱に、食・歴史・文学・美術について広く教養を身につけている。
・キャリアデザイン
　センス・マナーにおいても、幅広いフィールドで活躍できるオールマイティーな人材となり、21 世紀にふさわしいキャリアアップを目指して、国際的な社会人となること。
・自分で考え、伝える力
　獲得した知識や技術をもとに、自分自身で考え、それを相手に的確に伝える能力を習得している。
・社会貢献・充実した人生
　短期大学で学んだ教養によって国際人として社会に貢献し、自分自身も充実した人生を生きていこうという意志を持っている。

学部名	学科名	卒業又は修了に必要となる単位数	ＧＰＡ制度の採用（任意記載事項）	履修単位の登録上限（任意記載事項）
	美容生活文化学科 美容文化コース	６７単位	有・無	単位
	美容生活文化学科 ﾋﾞｭｰﾃｨｰﾒｲｸｺｰｽ	６２単位	有・無	単位
	美容生活文化学科 舞台芸術コース	６２単位	有・無	単位
	美容生活文化学科 幼児教育コース	７４単位	有・無	単位

	美容生活文化学科 ｷｬﾘｱ教養コース	６２単位	有・無	単位
ＧＰＡの活用状況（任意記載事項）		公表方法：		
学生の学修状況に係る参考情報 （任意記載事項）		公表方法：		

⑦校地、校舎等の施設及び設備その他の学生の教育研究環境に関すること

公表方法：http://aisengakuen.jp/wp-content/uploads/2021/09/bbb.pdf

⑧授業料、入学金その他の大学等が徴収する費用に関すること

学部名	学科名	授業料（年間）	入学金	その他	備考（任意記載事項）
	美容生活文化	700,000 円	300,000 円	648,000 円	
		円	円	円	
		円	円	円	
		円	円	円	

⑨大学等が行う学生の修学、進路選択及び心身の健康等に係る支援に関すること

a. 学生の修学に係る支援に関する取組
（概要）「クラス」制による学生グループを基本単位とした担当制を設けている。学生の退学を防止するため、 昼食の既食数カウントから登校していない学生を週ごとに職員がチェックし、担当教員は、それと出席表を合わせ見て欠席の多い学生のカルテを作成し、段階をふんで個別に指導する。また、すべての学生 に対して教員がオフィスアワーの時間を設けて、学修から学生生活の悩みなど各種の相談に応じ、修学 支援をすすめている。
b. 進路選択に係る支援に関する取組
（概要）本学では、進路全般に関しては「キャリア支援センター」が業務を担当している。本学のキャリア支援にまつわる講義を担当している教員は、大手エージェント会社の新卒支援担当出身であり、キャリア支援センターのスタッフを兼務しているため、学生の顔と名前をしっかり把握している。これによりパーソナルな対応が可能となるため、キャリア支援センターを利用する学生が非常に多い。また、各コースの担当教員も協力し、キャリア支援センターのスタッフと連携を強化している。 ＜キャリア支援センター＞ キャリア支援センターでしか閲覧できない求人票をデータ化し、学生はアプリを使っていつでもどこでも自由に閲覧ができるような取り組みを行っており、個別相談にも対応している。また、コース各担当教員・同センタースタッフが連携協力し、面接練習等の指導、支援を行っている。
c. 学生の心身の健康等に係る支援に関する取組
（概要）本学では、各コースの担当教員と事務組織の学務部学生課スタッフが連携協力し、学生の心身の健康等 の管理・相談に取り組んでいる。 ＜健康相談室＞ 健康相談室では担当者が学生の対応にあたり、健康の管理に配慮している。

⑩教育研究活動等の状況についての情報の公表の方法

公表方法：http://aisengakuen.jp/wp-content/uploads/2025/06/R7kyouinsyoukai.pdf 堺女子短期大学紀要を年１回発表し、国会図書館及び主要な大学図書館に寄贈している。

備考　この用紙の大きさは、日本産業規格Ａ４とする。

（別紙）

※ この別紙は、更新確認申請書を提出する場合に提出すること。

※ 以下に掲げる人数を記載すべき全ての欄（合計欄を含む。）について、該当する人数が1人以上10人以下の場合には、当該欄に「ー」を記載すること。該当する人数が0人の場合には、「0人」と記載すること。

学校コード（13桁）	F227310108516
学校名（○○大学 等）	堺女子短期大学
設置者名（学校法人○○学園 等）	学校法人愛泉学園

１．前年度の授業料等減免対象者及び給付奨学生の数

		前半期	後半期	年間
支援対象者数 ※括弧内は多子世帯の学生等（内数） ※家計急変による者を除く。		91人（—）人	80人（—）人	96人（—）人
内訳	第Ⅰ区分	67人	57人	
	（うち多子世帯）	（　　人）	（　　人）	
	第Ⅱ区分	13人	—	
	（うち多子世帯）	（　　人）	（　　人）	
	第Ⅲ区分	—	—	
	（うち多子世帯）	（　　人）	（　　人）	
	第Ⅳ区分（理工農）	0人	0人	
	第Ⅳ区分（多子世帯）	—	—	
	区分外（多子世帯）	人	人	
家計急変による 支援対象者（年間）				0人（0）人
合計（年間）				96人（—）人

（備考）

※ 本表において、多子世帯とは大学等における修学の支援に関する法律（令和元年法律第８号）第４条第２項第１号に掲げる授業料等減免対象者をいい、第Ⅰ区分、第Ⅱ区分、第Ⅲ区分、第Ⅳ区分（理工農）とは、それぞれ大学等における修学の支援に関する法律施行令（令和元年政令第４９号）第２条第１項第２号イ～ニに掲げる区分をいう。

※ 備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

２．前年度に授業料等減免対象者としての認定の取消しを受けた者及び給付奨学生認定の取消しを受けた者の数

（１）偽りその他不正の手段により授業料等減免又は学資支給金の支給を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

年間	0人

（２）適格認定における学業成績の判定の結果、学業成績が廃止の区分に該当したことにより認定の取消しを受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学（修業年限が２年のものに限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が２年以下のものに限る。）	
	年間	前半期	後半期
修業年限で卒業又は修了できないことが確定	人	0人	—
修得単位数が「廃止」の基準に該当 （単位制によらない専門学校にあっては、履修科目の単位時間数が廃止の基準に該当）	人	—	0人
出席率が「廃止」の基準に該当又は学修意欲が著しく低い状況	人	0人	—
「警告」の区分に連続して該当 ※「停止」となった場合を除く。	人	0人	—
計	人	—	—

（備考）

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

上記の（２）のうち、学業成績が著しく不良であると認められる者であって、当該学業成績が著しく不良であることについて災害、傷病その他やむを得ない事由があると認められず、遡って認定の効力を失った者の数

右以外の大学等		短期大学（修業年限が２年のものに限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が２年以下のものに限る。）			
年間	人	前半期	0人	後半期	0人

（３）退学又は停学（期間の定めのないもの又は３月以上の期間のものに限る。）の処分を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

退学	0人
３月以上の停学	0人
年間計	0人

（備考）

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

３．前年度に授業料等減免対象者としての認定の効力の停止を受けた者及び給付奨学生認定の効力の停止を受けた者の数

（１）停学（３月未満の期間のものに限る。）又は訓告の処分を受けたことにより認定の効力の停止を受けた者の数

３月未満の停学	0人
訓告	0人
年間計	0人
（備考）	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

（２）適格認定における学業成績の判定の結果、停止を受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学（修業年限が２年のものに限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が２年以下のものに限る。）	
	年間	前半期	後半期
ＧＰＡ等が下位４分の１	人	0人	0人

４．適格認定における学業成績の判定の結果、警告を受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学（修業年限が２年のものに限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が２年以下のものに限る。）	
	年間	前半期	後半期
修得単位数が「警告」の基準に該当 （単位制によらない専門学校にあっては、履修科目の単位時間数が警告の基準に該当）	人	0人	0人
ＧＰＡ等が下位４分の１	人	0人	17人
出席率が「警告」の基準に該当又は学修意欲が低い状況	人	—	0人
計	人	—	17人
（備考）			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。